

第1号議案

2010年度高麗美術館事業報告について

上記のことについて、別紙のとおり提出いたします。

2011年5月30日

財団法人高麗美術館理事長

## 2010年度高麗美術館事業報告

### ■ 高麗美術館2010年度の事業報告

#### 1 高麗美術館展覧会の開催結果について

2010年は、日韓併合(1910年8月)から100年という大きな節目の年に当たることから2つの関連企画展(「浅川伯教・巧が愛した朝鮮美術」展と「写真絵はがき」の中の朝鮮民俗)展を開催するとともに、来館者の声を反映した「リクエスト展」や、中・高校生など若年層にも理解しやすく工夫を凝らした「みんなで学ぶ朝鮮・韓国の歴史と思想」展、また新春には不老長生を願う「十長生」を描いた美術工芸を企画展示するなど、多様かつ親しみやすい展覧会を実施し、好評を得た。

(1)	2010年4月10日(土)～6月6日(日)	高麗美術館リクエスト展—あなたが選んだコレクション名品展	開催日: 50日	入館数: 2,009人	18時: 40.2人
(2)	“ 6月12日(土)～8月15日(日)	特別企画展① 浅川伯教・巧が愛した朝鮮美術	開催日: 56日	入館数: 2,622人	18時: 46.8人
(3)	“ 8月21日(土)～10月17日(日)	特別企画展② 「写真絵はがき」の中の朝鮮民俗	開催日: 50日	入館数: 2,254人	18時: 45.1人
(4)	“ 10月23日(土)～12月23日(木・祝)	コレクション名品展—みんなで学ぶ朝鮮・韓国の歴史と思想	開催日: 53日	入館数: 1,761人	18時: 33.2人
(5)	2011年1月8日(土)～3月27日(日)	新春企画展 美術工芸品に描かれた10のシンドル 十長生を探して	開催日: 68日	入館数: 1,869人	18時: 27.5人
計			開催日: 277日	入館数: 10,515人	18時: 38.0人
[2010/4/1～4/4を含む]			開催日: 281日	入館数: 10,629人	18時: 37.8人

参考 2006年—6,243人 2007—7,670人 2008—10,626人 2009—12,125人

#### 【特別企画展関連ツアー】

- ◎「浅川伯教・巧が愛した朝鮮美術」展 関連企画ツアー  
 ◎「写真絵はがき」の中の朝鮮民俗 展

【日本の旅】テーマ：朝鮮の美を求めて「浅川伯教・巧兄弟、韓遊記」

期 日：2010年6月25日～6月26日 [18時]  
 訪問地：浅川伯教・巧兄弟資料館、松本民芸館、日本民藝館 等  
 参加者：25人

【韓国の旅】テーマ：朝鮮の美を求めて「浅川巧日記」を歩く

期 日：①2010年7月11日～7月14日 [38日]  
 ② “ 12月6日～12月9日 [38日]  
 訪問地：韓国ソウル市、広州市、利川市 元・朝鮮民族美術館、  
 林業試験場、忘憂里共同墓地、分院白磁資料館 等  
 参加者：①35人 ②35人

## 2 「高麗美術館研究講座」の開催結果について

年間テーマを「100年-近代の朝鮮と日本を知る」として、佛科大学四条センターとの提携により実施した。

- ◆日程 年度内4回、各回土曜日 13:00-14:30(90分)
- ◆会場 佛科大学四条センター(550号室)
- ◆定員 150人 受講料 有料(銀は肌)

### 《2010年度高麗美術館研究講座》

- 
- |     |               |                       |          |
|-----|---------------|-----------------------|----------|
| (1) | 2010年5月22日(土) | 姜在彦先生 (元花園大学客員教授)     |          |
|     |               | 「日本と朝鮮の近代(1906~1945)」 | 受講者:139人 |
| (2) | " 8月28日(土)    | 水野高樹先生 (京都大学教授)       |          |
|     |               | 「日本人が見た植民地朝鮮」         | 受講者:193人 |
| (3) | " 11月20日(土)   | 小倉紀蔵先生 (京都大学准教授)      |          |
|     |               | 「朝鮮の美と歴史認識」           | 受講者:177人 |
| (4) | 2011年2月26日(土) | 上田正昭先生 (館長、京都大学名誉教授)  |          |
|     |               | 「日本と朝鮮 民間-まからまへ」      | 受講者:166人 |
- 

## 3 「高麗美術館館報」の発行

年間3回、1回2,000部 発行  
発行:2010年5月、9月、2011年1月

- 2010年5月 第86号 「浅川伯教・巧が愛した朝鮮美術」  
「研究講座/高麗時代の仏教建築と日本」
- 2010年9月 第87号 《「写真絵はがき」の中の朝鮮民俗」展に寄せて  
「研究講座/仏教工芸品にみる百済・新羅の余影」
- 2011年1月 第88号 「美術工芸品に描かれた10のシンボル-十長生を  
探して」展に寄せて  
「高麗美術館2011年度展覧会スケジュール」等

## 4 収蔵資料の修復

1件

- 花鳥図六曲屏風 各屏100.0×39.0cm 朝鮮時代16世紀
  - ・破損修復状況 日本の金屏風に貼り付けられている状態の上、蝶番いの損傷により左一扇目が離れた状態で、展示公開が困難なため、2箇年にわたり修復。
  - ・修復所要経費 189万円
  - ・修復預け入れ 2010年12月
  - ・修復完了納品 2011年7月(注) \*「花卉草蟲」展に出品
  - ・修復経費支払 2010年度-100万円  
2011年度-残額89万円 [注、朝日新聞文化財団から80万円の助成内定]

## 5 展覧会開催に係る作品の貸与・借用

### <主な貸与>

- OMIHO MUSEUM「アジアのかざり」展  
会期：2010年7月10日(土)～8月15日(日)  
貸与作品：華角箱、刺繍十長生図屏風、円瓦当 等
- 名古屋城博物館「武家と玄関 虎の美術」展  
会期：2010年9月25日(土)～11月7日(日)  
貸与作品：龍虎図〔双幅〕(李執西)
- 奈良県立美術館「花鳥画一輯・観と味一」展  
会期：2010年9月28日(土)～11月14日(日)  
貸与作品：花卉草蟲図〔双幅〕
- 和泉市久保徳記念美術館「数の美術—数まじり770種類—」展  
会期：2010年10月10日(日)～11月28日(日)  
貸与作品：刺繍十長生図枕蓆、十牛図、三災符籍 等

### <主な借用>

- 「浅川伯教・巧が愛した朝鮮美術」展  
会期：2010年6月12日(土)～8月15日(日)  
借用先：浅川伯教・巧兄弟資料館、日本民藝館、富本憲吉記念館 他  
借用作品：浅川巧日記、青花草花文面取壺、蓆、陶磁、書画 等
- 「写真絵はがき」の中の朝鮮民俗 展  
会期：2010年8月21日(土)～10月17日(日)  
借用先：日本近代文学館、浅川伯教・巧兄弟資料館、沼津牧水会 他  
借用作品：写真絵はがき資料

## 6 展覧会関連イベントの実施

### <主なワークショップ>

- 「あなたが選んだコレクション名品展」関連  
「韓国伝統茶を楽しむ」 講師：裨姪李青・鄭玲姫さん  
2010年4月17日(土)、5月8日(土) 参加者：60人
- 「写真絵はがき」の中の朝鮮民俗 展 関連  
「絵はがき談話」 講師：生田誠さん(観音寺)、細馬宏通さん(観音寺)  
9月11日(土)、9月25日(土) 参加者：35人
- 「みんなで学ぶ朝鮮・韓国の歴史と思想」展 関連  
「朝鮮半島の歴史・文化クイズとギャラリートーク」 担当学芸員  
11月6日(土)、11月20日(土) 参加者：50人
- 「美術工芸品に描かれた10のシンボル 十長生を探して」展 関連  
「韓国絵本読書会&即売会」 講師：キム・ファン(錢)さん(観音寺)  
2011年1月15日(土)、3月12日(土) 参加者：60人  
ミニ講座「朝鮮の食文化と長生思想」 講師：キム・ジヒョ(金智子)さん(韓国伝統料理研究家)  
2月12日(土) 参加者：45人

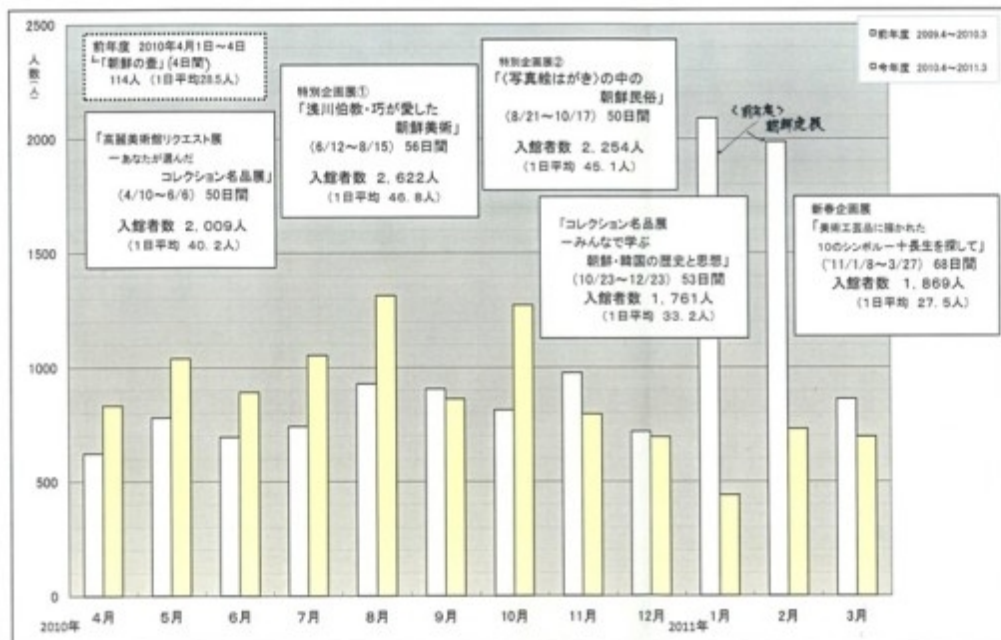
## 7 新・公益法人への移行に向けての対応

平成20年(2008年)12月1日に施行された「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づく新公益法人制度に対応するため、財団法人高麗美術館においては、公益財団法人への移行認定申請を本年・平成23年(2011年)6月ないし7月を目標にして、これまで京都府と相談を重ね、指導を仰ぎつつ定款変更案や諸規程案の検討、作成に努めてきた。

特に、本年度〔平成22年度(2010年)〕においては随時、移行に係るスケジュールの確認を行うとともに、「最初の評議員選任方法」の決議の後、選任方法の認可申請を経て、平成23年3月には評議員選定委員会を開催し、今回(科5期)、定款変更案及び諸規程案の承認等について提案すべく鋭意、準備作業を進めた。

## <2010年度 高麗美術館年間入館者数>

	2010年												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
前年度 2009.4~2010.3	624	781	696	742	929	906	815	977	719	2,089	1,986	861	12,125人
今年度 2010.4~2011.3	833	1,040	897	1,054	1,315	862	1,273	796	695	442	731	696	10,629人
観覧日数	22	26	22	27	22	26	23	23	20	20	24	24	281日



### <2010年度>

総入館者数 10,629人 (12,125人)  
 開館日数 281日 (287日)  
 1日平均 37.8人 (42.2人)

### <内訳>

一般・優待 6,685人 (7,286人)  
 大高生 612人 (747人)  
 中学生 374人 (488人)  
 会員 262人 (232人)  
 招待 2,696人 (3,372人)

※( )は前年度

### ★年間入館者数の推移★

年度	入館者数	1日平均
2006年度	6,243人	21.3人
2007年度	7,670人	26.2人
2008年度	10,626人	36.6人
2009年度	12,125人	42.2人
○ 2010年度	10,629人	37.8人